

SDGs Days 1年生

教科横断的学習

1日目と2日目の午前にかけて、8教科でSDGsに関する課題について学びました。1年生はすべてオンラインだったため自宅で授業を受けましたが、どの教科も普通の授業と違い、17つのSDGsの課題を見つめ直す内容となっていました。各教科の内容を感想を交えて紹介します。

教科等	テーマ	関連するSDGs	教科等	テーマ	関連するSDGs
国語	芸術作品を語ることば	1, 5, 11, 17 など	保健体育	パラスポーツ	3
地歴公民	権利意識と政治参加、国民の義務	3, 16	芸術	芸術作品を語ることば	国語科の欄を参照
数学	フェルミ推定	いろいろ	英語	World Water Crisis	6
理科	風力発電	7	家庭	家庭生活の中のSDGs	いろいろ

※関連するSDGs… 1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 4. 質の高い教育をみんなに 5. ジェンダー平等を実現しよう 6. 安全な水とトイレを世界中に 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 10. 人や国の不平等をなくそう 11. 住み続けられるまちづくりを 12. つくる責任 つかう責任 13. 気候変動に具体的な対策を 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさを守ろう 16. 平和と公正をすべての人に 17. パートナリシップで目標を達成しよう

国語・芸術 「芸術作品を語ることば」

国語と芸術は2時間連続で行われました。まず「チョコを味わう言葉」を考え、芸術作品の見方を学びました。その後芸術作品を自分の言葉を使って紹介しました。ジャムボードを使って他の人のことばを見ることができ、同じ作品を紹介する人の中でも解釈が違って興味深かったです。「語彙が増えればそれだけ関心が増えて知識が増える」という仮説に納得しました。



地歴公民 「権利意識と政治参加、国民の義務」

歴史から政治意識について考えました。例として、福沢諭吉が記した「学問のすすめ」を要約し、その内容について考えました。その後、いま日本が抱えている問題である、若者の投票率の低さについて考え、スライドにまとめ、発表しました。歴史から政治意識を学ぶことで、いつもより視野を広く持つことができ、発表につながられたと思います。

数学 「フェルミ推定」

フェルミ推定について学びました。求めたい数量を、前提確認→アプローチの設定→モデル化→計算→現実性検証 と、順序立てて求めていきます。今回は、ペットボトルの年間消費本数を求めました。 班によって着眼点がそれぞれで、根拠となる式が異なっていたのが印象的でした。

作成した式	代入後の式
日本の総人口×都市部居住率×都市部の1軒当たりの年間消費量×日本の都市部+地方部居住率×地方部の1軒当たりの年間消費量	3800000×(130+4.25×3800000)×920×2.5
フリーター×25%×年々消費量×高収入・平均消費量×(全人口×高収入者未満以下の人口)/平均消費量	810万×25%×270万×104×7200万×156×200万×4
日本の人口×1日の消費本数×365日	125000000×1×365
コンビニの1日の売り上げ÷コンビニの数÷売れる品物の数×売れる品物の数÷売れない品物の数×売れる品物の数	1.25億÷200
総人口×1人あたりの消費本数×5000万円÷それ以外の年間消費量×5000万円×52	75000万×4×5000万円×52
1ヶ月の1人あたりの消費本数×日本の人口×12ヶ月	10×125000000×12
小学生以上の総人口×人口の推定×1人1年間のペットボトルの年間消費量×60歳以上の推定人口×ペットボトルの年間消費量×フリーター(若年層)の人口×5	8.4×125000000×365
1日1人あたりの消費本数×日本の人口×365日	8.4×125000000×365
1ヶ月の1人あたりの消費本数×1.2ヶ月×人口	5×12×125000000
1ヶ月の1人あたりの消費本数×3ヶ月×12ヶ月×人口	2.3×12×125000000
人口×365日	125000000×365
1クラスあたりの総人数×12ヶ月×1学期×日本の人口	200×12×100万×125000000×40
高収入者の消費量×高収入者の消費量×(高収入者以外の消費量×2)	120×23×240×62億

理科 「風力発電」

「配布されたA4の紙一枚を使って、可能な限り高くする」という課題に取り組みました。一枚で高くするのは思ったよりも難しく、バランスなど考えなければいけない要素が多く、一番高くした人のデザイン、発想力には驚かされました。

表面の続きです。

保健体育 「パラスポーツ」

パラリンピックの競技でもあるシッティングバレーボールを行いました。その名の通りお尻を床につけたまま移動しなければいけないというルールで行いました。未経験のルールと機敏に動けない不自由さに当初は戸惑いましたが、チームメイトと声を掛け合ってボールを繋ぐ所に魅力があり、とても盛り上がりました。またパラスポーツをより身近に感じる機会でもありました。

英語 「World Water Crisis」

メラキの班ごとに、「水」について書かれた英語の資料を読み、「水」の価値について考え、スライドにまとめ発表しました。自分たちにとって身近な話題を改めて考え、発表する、貴重な機会でした。英語の資料を読むこともなかなかないので、興味深かったです。

家庭 「家庭生活の中のSDGs」

生活の中のSDGsについて考えました。具体的には、飢餓人口が増加している中で、自分たちで出来ることを考え、クラス内で共有しました。また、夏休みの課題で行ったホームプロジェクトが17つのSDGsの目標に関連しているかも見つけ直しました。SDGsを想定していないテーマでも、思ってもみなかった方向から社会や環境に貢献していることがあり印象深かったです。



理科の授業の配信の様子
すべての授業がオンラインだったため、生徒がいない教室から配信を行いました。

明治大学相澤先生のご講演

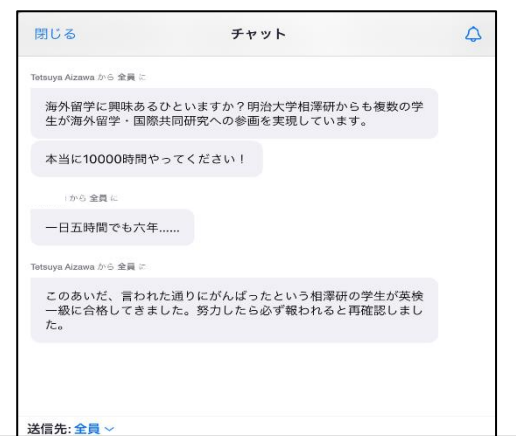
2日目の午後は明治大学の相澤先生のご講演でした。こちらもオンラインで行われ、大学の研究室からの講演を自宅で見ました。



研究室の紹介



先生が学生時代に作られたマスコット



英語は「10000時間」勉強しましょう！

生徒の感想

- 「チャンスは自分で作る」という言葉が心に残りました。先生は自分から積極的に自分のやりたいことや必要なことのために動いていてほんとにすごいと思いました。私は、親や先生に言われて何かを行ったり、行動することが多いので、改善しないといけないと思いました。自分が何を目標としていて、そのためには何をしなければならないのかということに常に意識して行動するようにしたいと思います。
- 「英語は道具」という言葉がとても印象に残っています。10000時間やれと言われて少し驚きましたが、それほど使える英語を習得するのは大変なことなんだと感じました。いつきっかけが訪れるかわからないから、英語を学んで自分の行ける世界を広げていきたいです。また、今はテストのためとか、ただただ勉強するだけであまり具体的な目標というのがないので、目標を立てて、それに向かって勉強していきたいです。
- 難しく考えすぎず、思いつきや思い込みでもっと行動してみることも大切だなと思いました。体育祭のマスコットの話などを聞いて、自分のやりたいことや好きなことをこの学校の行事でやっていると自分の興味のあることが見つかって自分の将来のことを決める第一歩になるのかなと感じました。